

## 第63回津久井地区まちづくり会議全体会結果

- ・日 時：平成30年5月29日（火）午後7時00分～9時20分
- ・場 所：津久井総合事務所3階第1・2会議室
- ・出席者：委員21名出席（3名欠席）
- ・傍聴者： 0名

1 開 会 関戸副代表

2 あいさつ 落合代表

3 報告事項

（1）副代表からの会議報告

関戸副代表より、5月24日に開催された「串川地域小さな拠点活用検討協議会」及び、5月28日の「緑区区民会議」に出席した結果が報告された。

（2）専門部会について

事務局から、前回の全体会終了後に2つの部会で決定した、正・副部会長の報告をし、2人の部会長から就任のあいさつを行った。

また、部会長2名については、会則に従い、役員（幹事）に就任することを併せて報告した。

・つくい元気部会 部会長 佐藤 満博

・地域活性化部会長（仮称） 部会長 森田 正紀

4 協議事項

（1）次期総合計画及び都市計画マスタープラン策定に向けた地区のまちづくりに係る意見交換について（第1回目）【事務局：企画政策課、都市計画課、緑区役所区政策課】

（ ）：委員発言 （ ）：事務局及び各担当者）

企画政策課の担当者から、意見交換の実施方法等についての説明の後、質疑応答を行い、1班あたり5～6名程度の構成による4班編成で「地区（津久井）の良くなったところ・悪くなったところ」をテーマに意見交換が行われ、それぞれの班から、結果発表を行った。

<意見交換の実施方法についての主な質疑>

意見交換は、グループごとに「発表者」、「書記」、「進行」を決めるとの説明があったが、付箋に書き込む形式（ブレインストーミング）にしたので、進行と発表者

だけでもよろしいですね。

グループごとに進めやすい方法で取組んでください。

<各班の主な発表内容>

1班

【地区の良くなったところ】

学校にエアコンが整備された

青根出張所（複合施設）が整備され、信号が設置された。

「あくりんず」（農協の直売店）が出来た。

若い世代が増えてきた

【地区の悪くなったところ】

閉店する店舗があった（コンビニ等）

公園が狭い

空き家が増加

青根小学校の焼失

1人暮らし高齢者が増えた

自治会の退会者が多くなった

鳥獣被害が増えた

2班

【地区の良くなったところ】

津久井広域道路が整備された（一部整備）

乗合タクシー（バス）が運行されている

バリアフリー化が推進されている。

【地区の悪くなったところ】

津久井広域道路の延伸整備がされていない

ゴミ回収日が減少した

公道管理が行き届いていない

少子高齢化が進んでいる

鳥獣被害や空き家が増加

働く場所がない

3班

【地区の良くなったところ】

津久井広域道路が一部整備され、圏央道のICが出来た

名手橋が耐震補強された

三井・中沢間のバスが運行維持している

防災意識が高まった

三井植物浄化施設（ビオトープ）の活性化が進んだ

【地区の悪くなったところ】

少子高齢化・買い物不便

鳥獣（サル）被害が増えた

県道516（三井～名手間）や、津久井湖周辺の整備が進んでいない

4班

【地区の良くなったところ】

津久井広域道路・圏央道が整備された

情報網が発達してきた（PC・スマホの普及）

津久井湖の水質が向上してきた

子供支援策が増えてきている（地区内での子供食堂の開催等）

自主防災意識が高まった

【地区の悪くなったところ】

自治会加入率低下により、祭典等が出来ない

商店減少

少子高齢化

鳥獣被害

路線バス便の減少

歩道と車道を区別する道路整備が不十分

次に、緑区役所区政策課の担当者から「津久井地区まちづくり提言書」と「地域づくりの基本方針」の主なハード分野（道路・施設整備等）の進捗状況の説明があった。

< 委員からの質疑 >

特になし

引続き、都市計画課の担当者から「コンパクトシティ」に係る新たな都市づくりの考え方についての説明があった。

< 委員からの質疑 >

（ : 委員発言 : 事務局及び各担当者）

コンパクトシティ（立地適正化計画）を進めるに際しての優遇策は。

今後人口が少ない地域に移住を勧めるような取組が必要と考えられるが、例えば空き家のリノベーションに対する優遇などはあるのか。

立地適正化計画を策定し、都市機能誘導区域を定め、その区域内における都市機能誘導施設（ex.病院、福祉、商業施設など）の施設整備について、国からの補助適用がある。

また、施設建替え等の際に容積率の緩和などがある。

空き家のリノベーションについては、補助対象ではない。

三ヶ木地区ではバスターミナルをはじめ、高等学校、スーパーマーケット、ドラッグストア、病院等、生活に必要な施設は充実しているが、あまり人口の増加には至っていない。

こういった既に集約されている地域を市はもっと良い環境となるようにサポートすべきである。

今回の審議会での議論で、客観的指標から分析したところ、三ヶ木地区は既に施設がまとまって立地しており、バスの交通結節点となっていることから、ポテンシャルがそれなりに高いことが分かった。

今回の資料にも、新たな拠点として表記しており、地域の拠点として位置づける可能性を有している。

今後、都市構造をより細かく検討していく中で結論づけていく。

資料中、目指すべき将来像に鳥屋の車両基地についての言及がない。

マスタープランにはどのように位置づけられる予定なのか。

現在の都市計画マスタープランの「都市力を高める都市づくりの方針図」等において、鳥屋地区に関しては宮ヶ瀬湖周辺を含めて「観光交流を創出する地区」となっている。

次期都市マスについても観光に資するものとしての位置づけを考えている。

今回の「地区の悪くなったところ」や、「提言書の振り返り」等を踏まえて、次回の会議では「地区の課題や対応方策」について検討をしていただきます。

## 5 その他

### 情報提供

- ・ 6月14日（木）に開催される講演会についての情報提供を行った。

テーマ：「人口減少対策」「未来に向けたまちづくり」

主催：公益社団法人 津久井青年会議所

場所：串川地域センター多目的ホール

連絡事項

- ・次回の全体会日程 日時：平成30年6月19日（火）午後7時～  
場所：津久井総合事務所3階 第1・2会議室

6 閉 会 高井副代表